

豊島区副都心開発調査特別委員会



まちに付加価値を！

東アジア文化都市、2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、副都心移動システム、公共交通の整備を推進するよう求めました。

◀EVバス（電気バス）の試乗会に参加しました。



豊島区EVバスデザイン案

副都心移動システムについて

竹下ひろみ 東アジア文化都市、2020年オリンピック・パラリンピックに向け、全国が豊島区に注目している。この時期を捉え、新庁舎と庁舎跡地、池袋駅西口等、区内各所を繋ぐ移動システムは大変有効である。地理に不慣れな観光客が、サンシャインに集中せず、広くまちを回遊することは、まちの価値が上がり、来街客増加に繋がると考える。副都心移動システムについての考えを伺う。

豊島区答弁 EVバス（電気バス）の運行に向けて急ピッチで進めている。環境に優しく、低速で走行することで、ゆっくりとまちを回遊してもらい、まちの価値を知ってもらうシステムである。EVバスは一般車と比較して、CO2の排出量が半分以下になると聞いている。

コミュニティバスについて

竹下ひろみ 公共交通としての役割は、観光客ばかりではなく、地域住民に対しても重要である。コミュニティバスの導入が各地域から要望されているが、今後の見通しはどうか。

豊島区答弁 新たな移動手段として、今後、コミュニティバスやデマンド交通についても検討していく。

東池袋新駅について

竹下ひろみ 東池袋駅周辺では、東池袋4・5丁目の再開発が都市計画決定され、事業が進んでいる。2023年には東京国際大学が造幣局跡地での開校を予定しており、今後、東池袋の乗降客数が大幅に増加する。これらを見据え、利便性の向上や混雑緩和のためにも副都心線の東池袋駅設置を検討・推進すべき。

豊島区答弁 現在、東池袋駅の乗降客数は一日4万2千人、今後南池袋2丁目C地区開発や造幣局跡地の防災公園、大学開校により乗降客数は5万人を超えると予想される。東京メトロとの新駅設置に向けた協議を再開させるためにも、区を挙げて体制を整えていく。



◀視覚障害者が助けを求めるとき、白いつえを体の前に高く掲げるポーズ「白杖SOSシグナル」キャンペーンに参加。



▶池袋大橋耐震補強工事請負契約の議案審査に先立ち、務委員長として現地を視察した。

竹下ひろみ 主な経歴

●昭和35年生 ●帝京大学卒業 ●平成15年 豊島区議会議員当選（現在4期）、第67代、70代 豊島区議会議員、豊島副都心開発調査特別委員会委員長、自民党豊島区議団幹事長等を歴任。家族（夫、三男一女、長男嫁、孫1人）

豊島区議会議員 竹下ひろみ 事務所

〒170-0013 豊島区東池袋 3-10-1

TEL.03-3985-0781 FAX.03-3980-3871

E-mail : takeshita-hiromi@toshima-jimin.jp

身近な区政のご相談、お待ちしております

生涯豊島 全力投球

豊島区議会議員

平成30年も区政改革推進中！

竹下ひろみ

自民党 豊島区議団

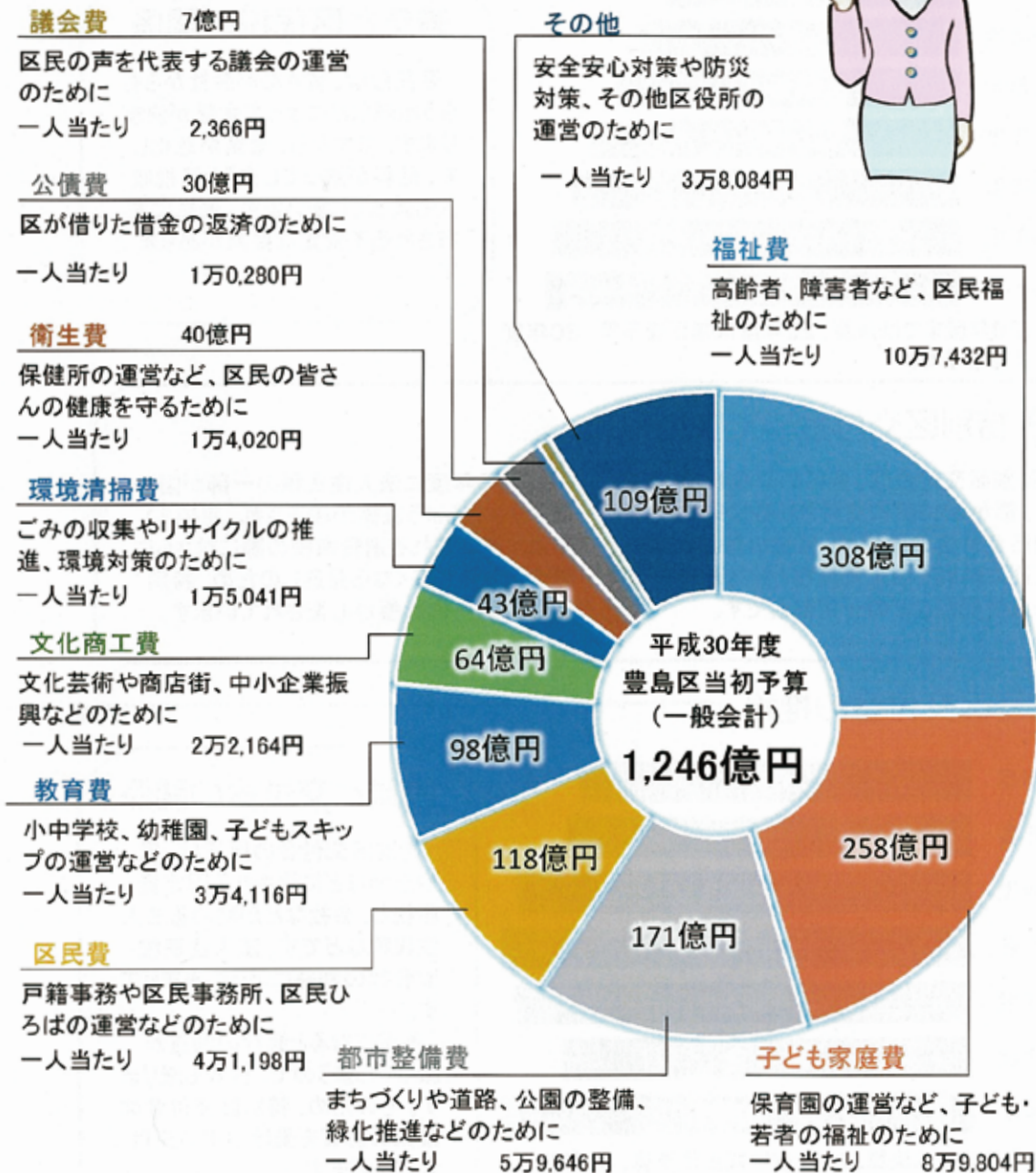
竹下ひろみ 5つの誓い

- まちづくり** 安全、快適で美しいまちづくりの推進
木造住宅密集地域の解消、公共建造物の遅滞なきメンテナンス、景観向上施策の実施
- 防災・環境** まちの協働で安全・安心の地域の達成
首都直下型地震への対応、テロ対策、振り込め詐欺防止装置への助成、防犯カメラ設置促進
- 地域経済** オリ・パラ後も発展し続ける豊島区経済を牽引
公民連携による都市開発、地域ブランドの確立、池袋駅東西における民需刺激策の実現
- 福祉・衛生** 切れ目のない子育て支援と健康寿命の増進
待機児童ゼロの維持、産前産後のケアに注力、認知症対策の推進、助け合うための地域づくり
- 教育** 高い教育水準の堅持に向け家庭教育の支援
小中学校の整備促進、放課後子供対策の充実、保育園・幼稚園における幼児教育を後押し



税金などがどう使われているんですか？

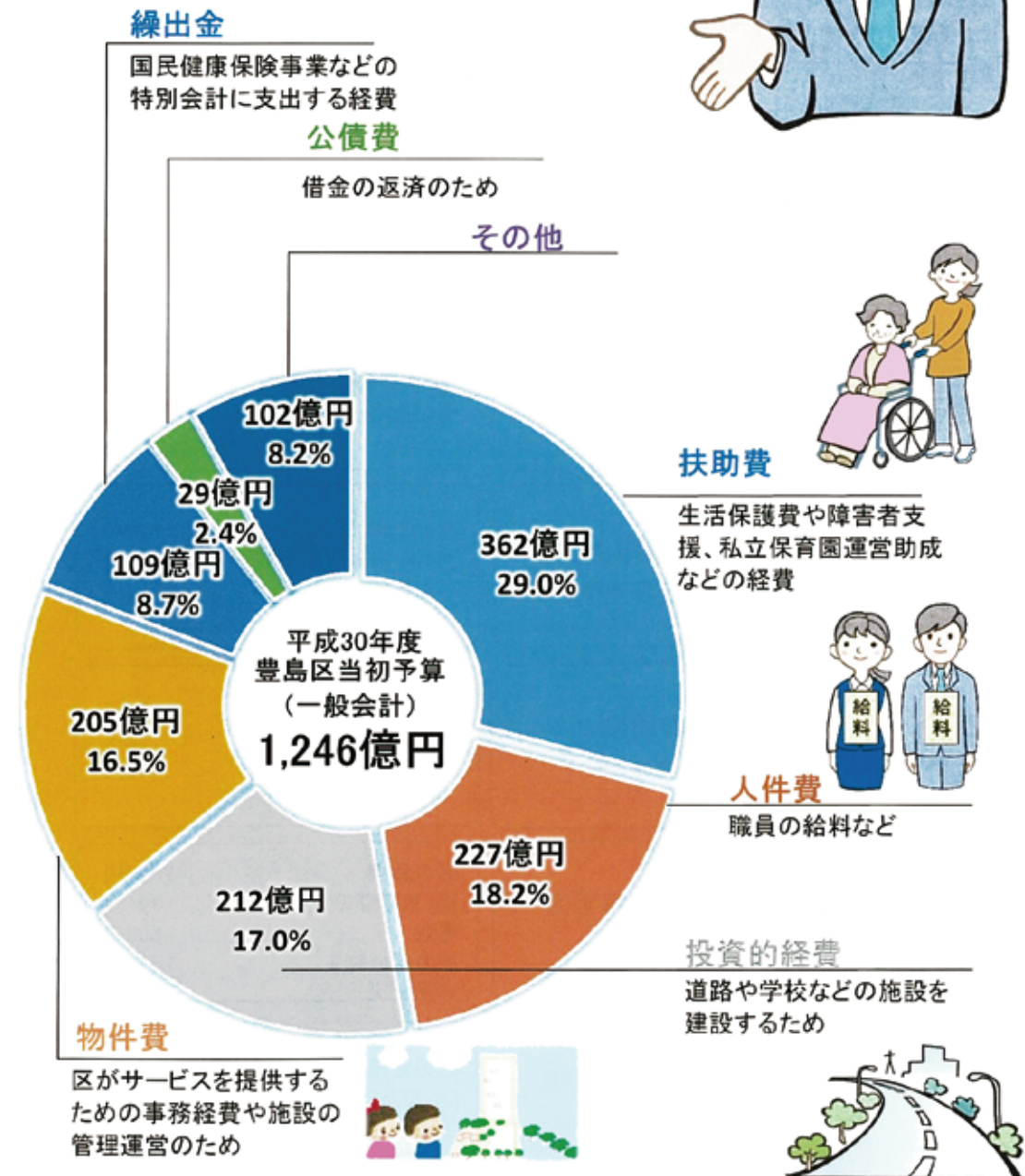
皆さんが納めた税金などが、どのように使われているか見てみましょう。
区では、道路や学校を作ったり、保育園などの子育てや福祉にお金を使っています。使われ方を目的別にするとうつようになります。



※数値は単位未満を四捨五入しているため、総額と内訳の合計が一致しない場合があります。

どのような経費がかかっているの？

使われている経費を人件費や施設を建てるための建設費など、その性格ごとに分けると次のようになります。



※数値は単位未満を四捨五入しているため、総額と内訳の合計が一致しない場合があります。